

特集 3

各地域団体で取組まれている事例(新規掲載事例)の紹介

(教育の質を向上するモデルー4)

運用管理が楽に認証のステップもシンプルになり、学生にも使いやすい 学内全域での Wi-Fi 環境を実現 (城西大学)

〔事業概要〕

近年は学生のスマートデバイス所持が当たり前になり、キャンパス内のワイヤレスLANサービスに対する要望が多く上がっていました。同時期に学生の出席や履修状況の管理、資料共有などを行うポータルサイトの運用を始めたことで、教員からもより使いやすいアクセス環境の整備を求める声が多くなりました。

通信キャリアのフリー Wi-Fi サービスが提供されるようになった頃、学生から使いたいと要望が出てきたことがそもそものきっかけです。キャンパスの立地の関係で携帯キャリアの電波が入りにくく、大学として通信環境を整える必要があると考えました。

学外の先生方や留学生もワイヤレスLANを使いたいということで一部のエリアで提供を始めましたが、このときのシステムは管理機能が十分とは言えず、運用の負担は非常に大きかったです。また、学生や教員からも利用できるエリアが少ない、どこで使えるのかわかりにくいという声が多数出まして、やはり学内全域で提供すべきということで検討を進めました。

Cisco PIによる集中管理と見える化で運用の負担を削減されました。アクセスポイントの集中管理と利用状況の見える化には、Cisco Prime Infrastructure (PI) とCisco Mobility Services Engine (MSE) が用いられています。設定の一括適用が可能になり、障害時の対応やアクセスポイント交換時のプロビジョニングも容易になったことで運用しやすくなりました。

また安全なアクセスに不可欠なユーザ認証は、Cisco Identity Services Engine (ISE) で実現しています。ISEのゲストアクセス機能を使うことで、利用者の好きなタイミングで来客者に対してユーザ認証付きのワイヤレスLANサービスを提供できるようになりました。利便性とセキュリティをバランスよく向上させています

〔コラム〕

① サービスイメージやシステム構成

学内全域のワイヤレス LAN 整備でコミュニケーションが活発に



② 事業展開による効果・成果

以前はアクセスの設定と認証の手順が多くて面倒でしたが、今はとてもシンプルです。学生、教員とも全員がITに詳しいわけではないので、安全なネットワークを簡単に使える状況となりました。

以前は障害が発生するとコンソールでコマンドを入力したり、その場へ行ってアクセスポイントごとに設定を入れ替えたりしていたので、運用の負担は大きく減りました。アクセスポイントの設定は最低限行っておけばあとは自動化できることが理想だったので、そこにかなり近づくことができました。

[サービス利用者の声]

安定した無線アクセス環境が整ったことで、教員も研究室だけでなくキャンパス内の自由な場所で活動ができるようになりました。ベンチで調べものをしているとき、通りかかった学生に声を掛けられるなど新しいコミュニケーションの機会も増え、そうした点でもメリットを強く感じています。

新入生に対してワイヤレスLANの利用をアピールすると良い反応が返ってきます。自由に使えるので活用してほしいと告知したところ、とても多くの反響がありました。今の学生にとってスマートデバイスやワイヤレスLANはなくてはならないものだと思います。

[今後の課題と展開]

城西大学では、シスコワイヤレスLANソリューションを活かして、学生への教育や学内のITサービス提供を充実させていくこととしています。その一例として、Web会議サービスCisco WebExを使ったキャンパス間や学外の機関などとのコミュニケーション強化を進めることも検討しています。

[問い合わせ先]

- ・シスコシステムズ合同会社 パブリックセクター事業
小野 裕一
〒107-0227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウンタワー
- ・電話：03-6434-6399 携帯：080-4156-7277
- ・e-mail：yuono@cisco.com